新時代の宿泊業界と組織運営

井上善博・全旅連次期会長に聞く

各委員長らと意思の疎通を 宿泊4団体で歩調合わせて

3面から続く

――各委員会の委員長、委員は。

まだ言える段階ではないが、いろいろ考えている。

都道府県組合の理事長をしていると、私もそうなのだが、地元でさまざまな会合がある。そこで全力、さらに全国組織でも全力というのはなかなか難しい。

都道府県組合の理事長、各ブロックで互選で選ばれる全旅連副会長との関係を大事にすることはもちろんだが、各委員会の委員長には実働部隊として特に頑張ってもらいたい。各委員会もバラバラではなく、委員長らが一堂に集まり、会議が終わった後、みんなで食事をするとか、そのような関係性を大事にして、意思の疎通を図っていきたい。

ほかにも旅館業法、風営法、固定資産税、入湯税と、業界を取り巻くさまざまな問題がある。全旅連だけでなく、日本旅館協会、全日本ホテル連盟、日本ホテル協会の、いわゆる宿泊4団体で歩調を合わせて、これら問題の解決を図るとともに、組合員の皆さまが組織に入ってよかった、と思っていただける活動をしたい。

――諸問題の解決には政治との関わりが欠かせない。業界の中から政治の場に代表を送る必要性については。

思いは当然ある。誰が、ということについては、これからいろいろと活動する中で、見いだしていければと思う。業界の中でそのような機運が高まっていけば、人選が必要になるかもしれない。

――青年部、女性経営者の会（JKK）との連携について。

私は今年の10月で55歳。青年部を卒業して10年ぐらいがたち、今まで業界を支えてきた先輩方と、現役の青年部員の中間の世代になる。世代的にも青年部とは連携がしやすいと考えている。

青年部は、私の上の世代は3千人ぐらいのメンバーがいたが、今は千人前後と聞いている。ただ、ある意味少数精鋭化して、陳情など、親会をしのぐほどの活動をしている。

親会としても青年部の若い力を借りなければいけないし、自分も業界内ではまだまだ若いといわれる世代だが、しっかりと連携をしなければならないと考えている。

JKKは、女性ならではの視点で業界のことを考え、業界全体とそれぞれの宿の発展のために取り組まれている。

新会長の高橋美江さんともいろいろ話をしながら、共に活動をしていきたい。

新たに発足する委員会には、青年部のメンバーは当然、加わっていただきたいし、JKKのメンバーもご無理がなければぜひ参加をしていただきたい。

――青年部の新しい部長、塚島英太さんも九州出身。

塚島さんは、私が青年部長のときに全旅連青年部に初出向したそうだ。前の青年部長の星永重さんもそう。今回、たまたま同じ九州ということになったが、何かの縁があるようだ。

――プライベートについて。休日の過ごし方、趣味などは。

気晴らしにドライブに行くこと。カブトムシやクワガタも好きで、いわゆる大人の趣味として、外国から輸入して育てたりしている。子供連れのお客さまが多い夏休みは宿のロビーで展示したりしている。

――会長に立候補するに当たり、家族の反応は。

母からはコロナ禍でもあり心配されたが、嫁からは特に何も言われなかった。嫁はJKKの前会長の小林佳子さんが同じ福岡県出身だったこともあり、JKKの活動にもかねて参加していたため、その辺りの理解はあるようだ。

――6月14日の全国大会開催に向けて、組合員にメッセージを。

業界がいい方向に進むように、そして観光立国を実現し、われわれが国の基幹産業になるべく、まだまだ若輩者で微力ではあるが努力していきたい。皆さまのご協力をよろしくお願いします。

第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」

全旅連が主催する第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」の受賞者がこのほど決定した。最高賞の厚生労働大臣賞は長崎市の「長崎スカイホテル」、全旅連会長賞は新潟県南魚沼市の「ryugon」が受賞。表彰式は今月14日、松山市で開催の第101回全旅連全国大会の席上行われる。

賞は全国各地の旅館・ホテル、旅館ホテル組合が参加または主催する活動の中で、高齢者をはじめ、全ての人々に優しい配慮がなされている活動を表彰するもの。今回は全国から20件がエントリー。有識者ら14人で組織する選考委員会（委員長＝橋本俊哉・立教大学観光学部教授）による採点、審議で各賞を決定した。

厚生労働大臣賞を受賞した長崎スカイホテルは、長期引きこもり、精神に障害がある人などにホテルを居所としてもらい、生活訓練を受けながら社会での自立を目指してもらう「宿泊型自立訓練」を令和4年4月から実施。開所から約1年で延べ30人を受け入れている。同5月には保護観察所から認可を取得し、罪を犯した人の生活支援も開始した。

全旅連会長賞のryugonは、顧客が親戚の家に来た気分で宿泊施設の業務を手伝うことで、無料で宿泊滞在ができる仕組み「さかとケ」を構築。テレワークで勤務する30代の女性を中心に、昨年末から現在まで約50人が会員登録している。会員は知人に宿を紹介するアンバサダーとしての働きもしているという。

観光経済新聞社社長賞は和倉温泉旅館協同組合（石川県）が受賞した。東宮殿下（後の大正天皇）の和倉温泉行啓時の休憩所として臨時で建てられた建築物「御便殿」が同温泉の二つの寺に移築保存されている。建物は使用後に取り壊されるのが一般的だが、同地では現存しており、平成29年に国有形登録文化財に指定された。同組合は地元高校の生徒や観光ボランティアガイドと連携し、希少価値のある御便殿を多くの人に知ってもらおうと、ガイド付きのツアーを企画。多くの観光客を集めるなど地域活性化に一役買っている。

厚労大臣賞に同20万円、全旅連会長賞に同20万円、選考委員会賞、全旅連シルバースター部会長賞、観光経済新聞社社長賞、観光経済新聞社社長賞などに同10万円、優秀賞に同5万円がそれぞれ贈られる。

厚労大臣賞に「長崎スカイホテル」

全旅連会長賞は「ryugon」

前回（昨年）の表彰式

今年の選考委員会（第2回、5月10日）

第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者

厚生労働大臣賞

長崎スカイホテル株式会社
「ホテルで暮らしながら『自立を目指す』障がい者の拠り所。地域の受け皿としてホテルの新しい在り方。」＜長崎県＞

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会会長賞

ryugon
「『場としごと』を共有することで始まる新たな旅の需要創出事業」＜新潟県＞

選考委員会賞

松之山温泉組合
「『エコビレッジを目指して』松之山温泉エコロッジ＆エコビレッジ」＜新潟県＞

観光経済新聞社社長賞

和倉温泉旅館協同組合
「大切に守り続けてきた『和倉御便殿』を未来へつなぐ『地元高校生ガイドによる御便殿ツアー』」＜石川県＞

リクルート「じゃらん」賞

白馬村宿泊イノベーションチーム（白馬村宿泊事業者）
「白馬の宿が変わる！世界一、幸せな村へ！白馬村宿泊シンポジウムを開催。」＜長野県＞

楽天トラベル賞

塩原温泉旅館協同組合
「塩原デザイン紙袋制作・温泉街プラごみゼロへ」＜栃木県＞

全旅連シルバースター部会長賞

沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合
「業界啓発啓蒙事業～『ホテルのしごと2023』の発刊および幼児向けオリジナルダンス＆ソング『ちむぐくるでおもてなし』の制作と地域との交流～」＜沖縄県＞

優秀賞

静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合＜静岡県＞
滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 ＜滋賀県＞
松江旅館ホテル組合・松江しんじ湖温泉旅館協議会 ＜島根県＞
愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合 ＜愛媛県＞
道後温泉旅館協同組合（青年部）＜愛媛県＞

努力賞

函館湯の川温泉旅館協同組合 ＜北海道＞
奥鬼怒四湯除雪安全協力隊 ＜栃木県＞
老神温泉観光協会 ＜群馬県＞
伊香保温泉旅館協同組合 ＜群馬県＞
睦館 ＜岐阜県＞
奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合吉野支部 ＜奈良県＞
兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合 ＜兵庫県＞
香川県ホテル旅館生活衛生同業組合 ＜香川県＞

人と環境に優しい温泉ろ過装置の決定版
FRP製 ろ過装置
優れた 耐蝕・耐候性 耐熱・保温性
SPF-S5ANT
腐蝕しないので温泉・井水・海水でも大丈夫
タンク10年保証だから安心
約40%の省エネ効果 鋼板、ステンレス製に比べ熱伝導率は1/50
ろ過装置の入替は タンクからシステム入替まで メーカー直接工事で工事費削減

客室個浴槽対応 昇温ユニット
耐熱・耐蝕樹脂製
シェル:エンジニアリングプラスティック
チューブ:チタン
温泉仕様 子熱 Konetsu
KOC-1
1. 構成部品が少なく軽量、確かな保温性能
2. 耐蝕樹脂製の小型熱交換器を使用
3. 小規模浴槽向け、省スペース。浴槽容量～500L、～1,000L、～1,500L
4. 集毛網付吸込口※オプションとあわせて、ヘアキャッチャを省略
5. リモコンによる遠隔操作が可能
6. フロント等で、一括遠隔監視 ※オプション
コンパクト 軽量

「浴槽管理」で、お困りの方 必見！
人材不足対策
ランニングコスト削減なら
ショウエイにお任せください！
省力化 浴槽温度 塩素濃度 の 自動制御化
浴槽管理の人材不足対策
温泉浴槽 湯守りのお手伝い！
・浴槽温度を常時適温制御。
・浴槽内に設置する温度センサーは有線、無線の2タイプ。
各浴槽の温度や残留塩素濃度など様々な項目の一括監視・制御。
お客様向けに貸切風呂などの利用状況表示も可能
省エネ SBESシステム
温浴設備ランニングコスト対策
効率的に運転を行い、「水」「熱」「電気」など使用エネルギーの適切な維持管理をするシステム
導入事例① 某温泉旅館 施設概要：客室110室 露天風呂、内湯風呂
約65%削減
既存システム 約396,581kWh
SBESシステム 約135,929kWh
削減効果 ▲約260,652kWh ▲約351万円/年

貸切風呂、個室露天風呂 家族風呂向けソリューション
SHOEI 水とともに・人にやさしく
コンパクトにユニット化 ろ過ユニットシステム
SPN 麗：Rei
ろ過システムに必要な機器を一体化
当社従来比1:2のサイズにコンパクト化を実現
屋外屋内を問わずスペースを有効利用
音をださない薬液注入 小浴槽用薬液注入セット
音々：Otone
ダイヤフラム音が無く、静音運転
ポンプ一体式の小型ユニット。
残留塩素濃度制御装置一体式や複数系統薬液注入対応タイプもラインナップ
FRP製ユニット式浴槽 大きさを自由に選定できる
悠湯：Yuuyu
設置スペースに合わせた形状で製作が可能
排水金具もラインナップ

SHOEI 株式会社 ショウエイ
URL https://www.shoei-roka.co.jp
本社 〒211-0032 神奈川県川崎市幸区新川崎2-6 Tel:044-589-1601 Fax:044-589-1602 E-Mail shoei@shoei-roka.co.jp
●関西支店 077(510)0040 ●岩手営業所 0194(39)1300 ●仙台営業所 022(794)8921 ●郡山営業所 024(954)4225 ●静岡営業所 055(943)7010 ●山梨営業所 055(225)3435 ●富山営業所 076(461)6405 ●広島営業所 082(870)7040 ●福岡営業所 0948(20)5116 ●札幌支店 011(815)4618